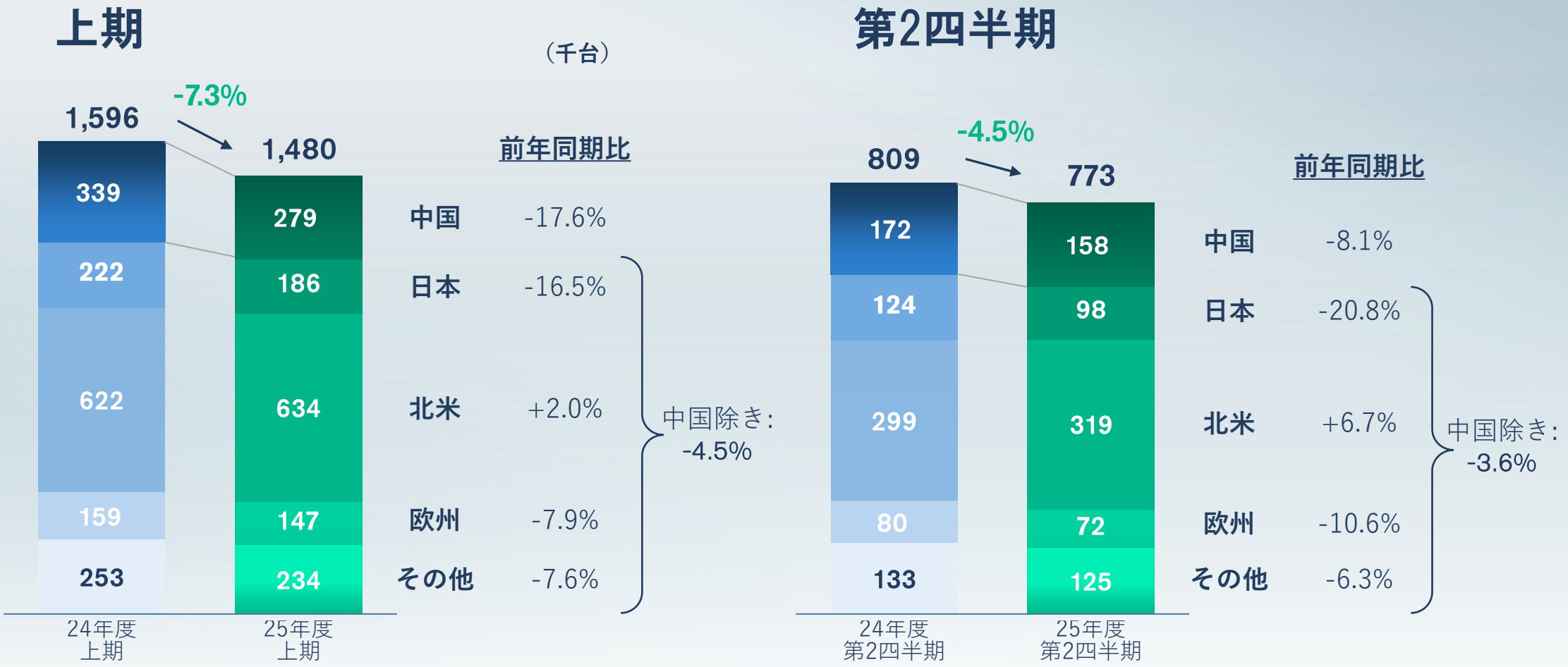
RE:NISSAN

2025年度上期 決算報告

2025年11月6日

2025年度上期実績

小売販売台数

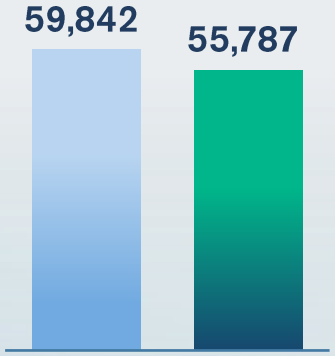

上期
（千台）
1,596
-7.3%
1,480
339
222
622
159
253
279
186
634
147
234
前年同期比
中国 -17.6%
日本 -16.5%
北米 +2.0%
欧州 -7.9%
その他 -7.6%
中国除き：
-4.5%
24年度
上期
25年度
上期
第2四半期
809
-4.5%
773
172
124
299
80
133
158
98
319
72
125
前年同期比
中国 -8.1%
日本 -20.8%
北米 +6.7%
欧州 -10.6%
その他 -6.3%
中国除き：
-3.6%
24年度
第2四半期
25年度
第2四半期

25年度上期 財務実績

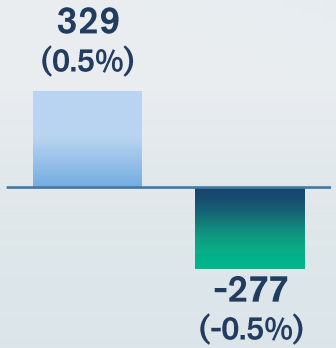
24年度 上期　25年度 上期（億円）

連結計

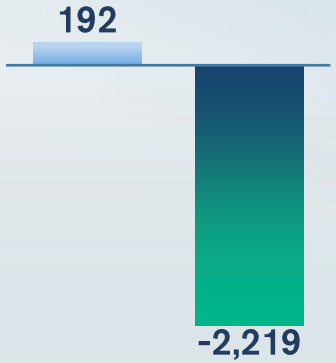
売上高



営業利益（営業利益率）

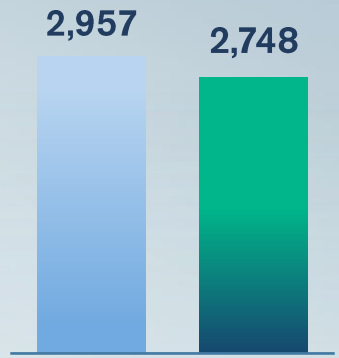


当期純利益*



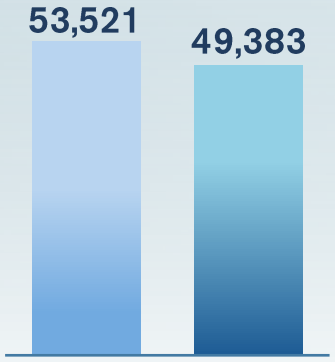
設備投資

研究開発費



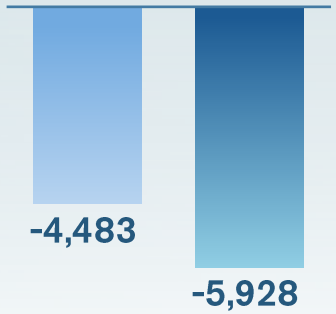
自動車事業及び消去

売上高

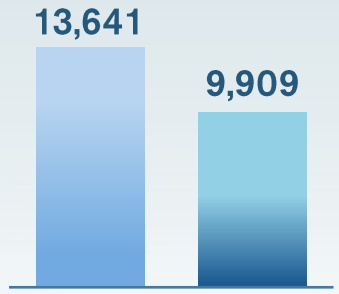


営業利益（営業利益率）

フリーキャッシュフロー



ネットキャッシュ



流動性の状況
（2025年9月末時点）

1. 自動車事業手元資金: 21,899億円（2025年3月31日時点: 21,598億円）
2. 未使用コミットメントライン: 23,301億円（2025年3月31日時点: 21,125億円）

*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益増減分析

（億円）

25年度上期実績 対前年

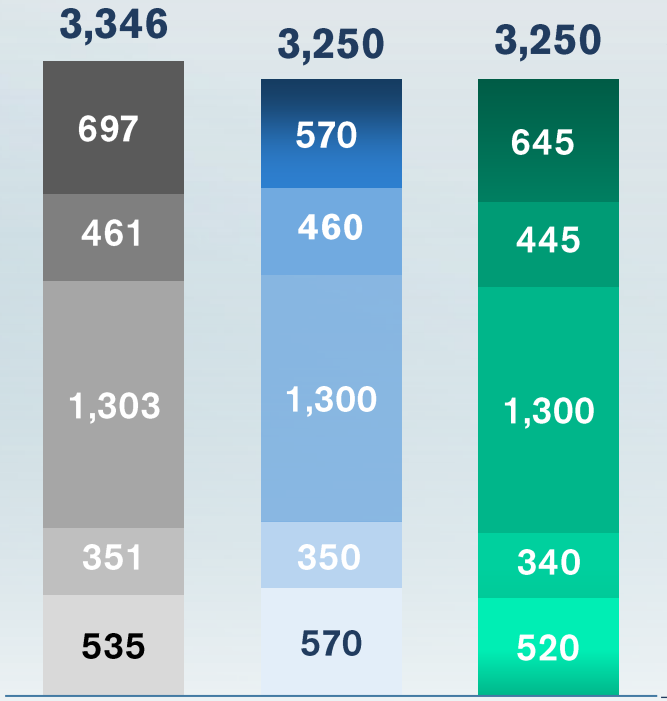
24年度上期	為替	原材料	関税	販売パフォーマンス	モノづくりコスト*	ｲﾝﾌﾚｰｼｮﾝ	一過性	その他	25年度上期
			内訳	台数/構成 +617	生産費用 +179	モノづくり -405	製品保証引当金見積りの変更 +289	販売金融 +85	
				販売費用/価格改定 -63	物流費 +52	その他 -95	米国環境規制 +360	-クレジットロス +10 -その他 +75	
				ｱﾌﾀｰｾｰﾙｽ -169	規制対応/商品性向上 -12			ﾘﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ +213	
				その他 -149	研究開発費 +228			一般管理費 +232	
					購買 +270			その他 -77	
					その他 -52				

*モノづくりコストのその他に含まれていた減損影響額を第2四半期からその他へ移動

2025年度見通し

2025年度台数見通し

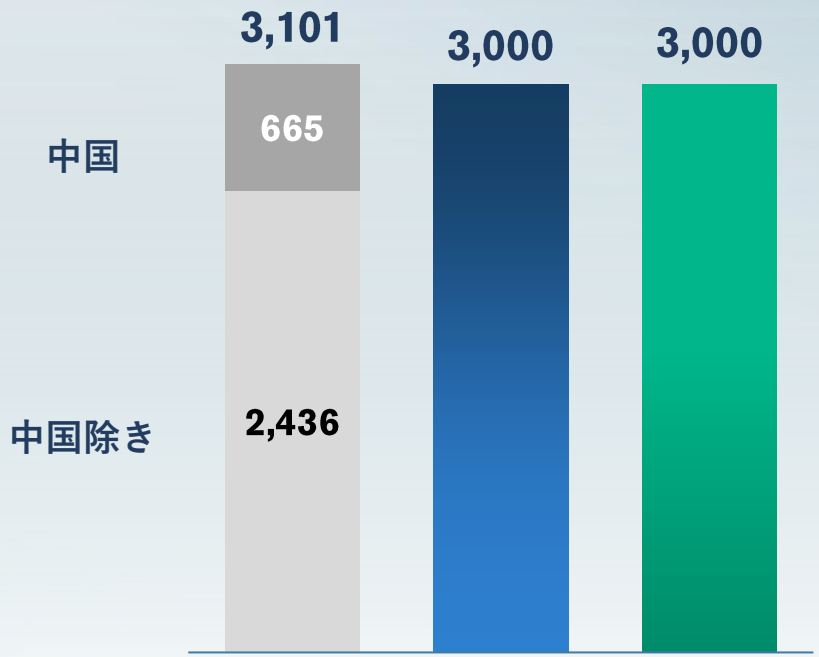
小売販売台数



（千台）

	対前年	対前回見通し
グローバル	-2.9%	0.0%
中国	-7.4%	+13.2%
日本	-3.4%	-3.3%
北米	-0.2%	0.0%
欧州	-3.1%	-2.9%
その他	-2.7%	-8.8%
中国除き	-1.7%	-2.8%

生産台数



2025年度見通し

（億円）

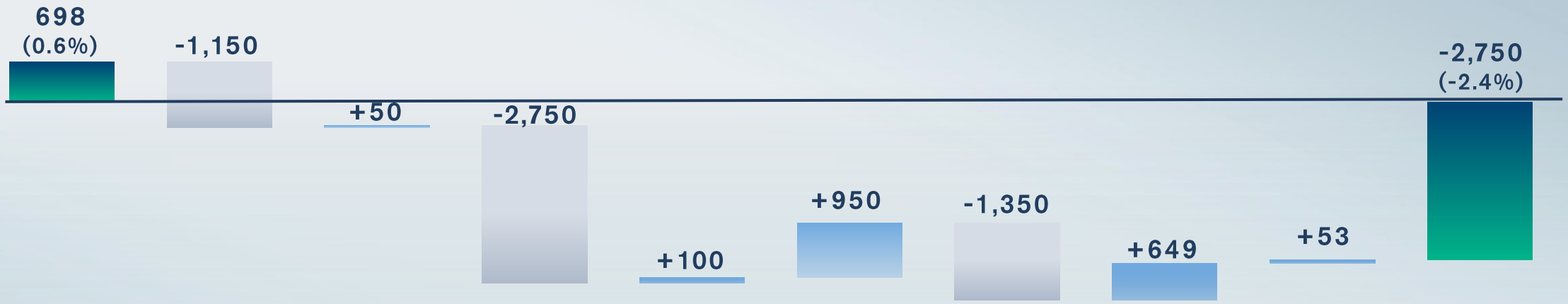
	24年度 実績	25年度見通し （関税影響含む）	対前年
売上高	126,332	117,000	-9,332
営業利益	698	-2,750	-3,448
営業利益率	0.6%	-2.4%	-3.0ポイント
当期純利益*	-6,709	未定	-
為替レート（ドル/円）	153	146	-7
（ユーロ/円）	164	168	+4

*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益増減分析

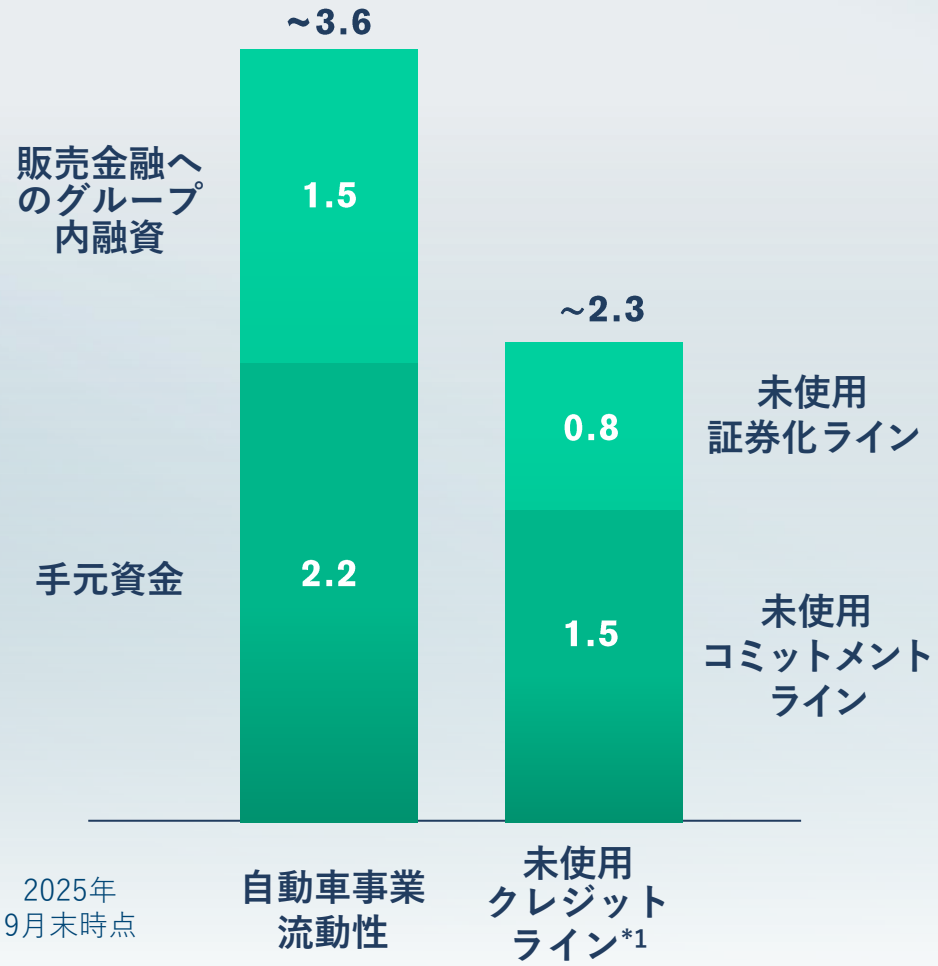
（億円）

25年度見通し 対前年



24年度実績	為替	原材料	関税	販売パフォーマンス	モノづくりコスト	ｲﾝﾌﾚｰｼｮﾝ	一過性	その他	25年度見通し
			内訳	台数/構成 +450	生産費用 +150	モノづくり -1,150	製品保証引当金見積りの変更 +289	販売金融 0	
				販売費用/価格改定 -300	物流費 +150	その他 -200	米国環境規制 +360	ﾘﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ +250	
				ｱﾌﾀｰｾｰﾙｽ -50	規制対応/商品性向上 -100			一般管理費 +200	
					研究開発費 +150			その他 -397	
					購買 +400				
					その他 +200				
前回見通し（対前回見通し）	-1,200 (+50)	+200 (-150)	0 (-2,750)	+600 (-500)	+1,600 (-650)	-1,450 (+100)	0 (+649)	-448 (+501)	0 (-2,750)

資金調達および流動性の状況



通貨	償還期間	総額
米ドル	5年	10億ドル
	7年	7.5億ドル
	10年	12.5億ドル
ユーロ	4年	8億ユーロ
	8年	5億ユーロ

通貨	償還期間
円	6年*2
総額	**転換価格**
2,000億	397.2 円

*1 未使用証券化ラインは販売金融関連、未使用コミットメントラインの内訳は、自動車事業で6,000億円、販売金融で9,000億円
*2 4年後から行使可能なプットオプションを含む

25年度上期実績サマリー

販売実績

- 市場の変動と競争環境下でも堅調さを維持
  第2四半期の減少幅縮小、安定化の兆候
- 北米：第2四半期は堅調な成長
- 中国：N7が牽引し、対前年比で6月以降伸長
- 一時的な成長の鈍化は、今後の新製品投入や販売店向けプログラムにより、回復が見込まれる

財務実績

- 7月の資金調達により手元資金は2.2兆円、自動車事業の流動性は3.6兆円
- Re:Nissanの施策により、上期の固定費削減額は800億円超を達成

見通し

- Re:Nissanの取り組みにおける商品投入により、下期は台数回復が期待される
- 営業損失2,750億円は、関税影響除きで損益分岐点となる見込み
- 年度末時点での目標ネットキャッシュは1兆円、下期の自動車事業フリーキャッシュフローはプラスを見込む
- Re:Nissanの枠組みの中で、前向きな姿勢とリスク管理の慎重さを両立

RE:NISSAN

Re:Nissan 活動進捗

経営再建計画

RE:NISSAN

主要な柱

01 コスト構造の改善

02 市場・商品戦略の再定義

03 パートナーシップの強化

黒字化
自動車事業の
営業利益とフリー
キャッシュフロー
（26年度）*

*関税影響を除く

2026年度 コスト削減目標

RE:NISSAN

削減目標

5,000億円

2024年度実績比

変動費	▼2,500億円
固定費	▼2,500億円

2024年度実績比、 2026年度の想定為替レート: 140円

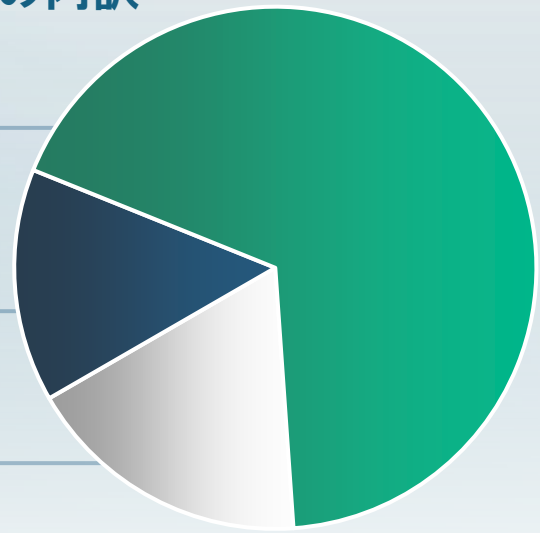
変動費 - 決定と実行

RE:NISSAN

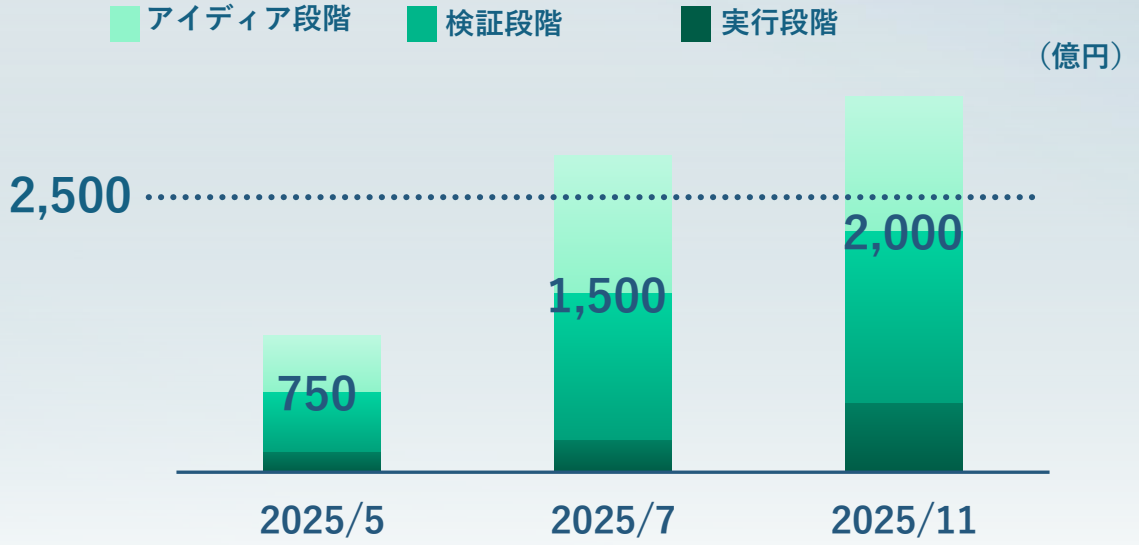
4,500アイディアを創出　　**～2,000億円**　想定影響額

TdC (Total delivered Cost)の進捗

ソリューションの内訳



実行に向けた進捗



固定費・その他 - 決定と実行

RE:NISSAN

規律あるコストマネジメントと効率の継続的追求

生産の再編

統合・削減する７つの生産拠点
のうち６つを決定

1. アルゼンチン工場
2. RNAIPLインド工場
3. 追浜工場
4. 日産車体湘南工場
5. シバック工場

6. COMPAS* (コンパス) 工場
2025年11月　日産車の生産終了

*Cooperation Manufacturing Plant Aguascalientes (COMPAS)

削減、合理化

800 億円以上の経費削減（上期）

タスクフォースチームがバリューチェーン全体のコストを精査
（第１四半期：300億円）

具体的な取り組み

- エンジニアリングコスト(時間当たり労務費)を20%削減する目標に対して、12%まで進捗
- 次期型ローグで品質を犠牲にすることなく、60%以上の部品種類を削減
- 横浜本社ビルのセールアンドリースバック(２０年間)
- グローバルデザインスタジオの再編
- 日産グローバル情報システムセンターの移転

継続的で確実な商品計画

RE:NISSAN

9月　米国
Wards **10 ベスト エンジン**＆推進システム

10月　日本
カーオブザイヤー
10ベストカー

26年前半　EU
The SUN紙
カーオブザイヤー

リーフ

HEARTBEAT　PARTNERSHIP　CORE

2025年度 投入モデル

N7

4月
発売開始から６カ月で累計販売台数4万台

5月
キックス

クアトロロダス誌｜
2025ベストバイSUV （ブラジル）

9月
キャシュカイ e-POWER

第三世代 e-POWER｜
ハイブリッドオブザイヤー（英国）｜
モーターアワード2025

9月
ルークス

発表後6週間で
15,000台受注

今後2027年度までに投入される新型車についても9車種を発表済

パートナーシップ

RE:NISSAN

テクノロジー

8月 | Boldly、京浜急行電鉄、
プレミア・エイド
自動運転モビリティサービスの実証実験

9月 | Wayve 次世代運転支援技術
（ProPILOT）を公開

10月 | ファーウェイ
「HarmonySpace5.0」
スマートコックピットを採用（中国）

RE:NISSAN

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。